

図書室だより

文林中学校 学校図書館支援員

小澤 英子

令和4年3月2日発行

第11号



みなさんこんにちは。今年度も残りわずか。進級、卒業の3月ですね。くやしかったこと、大変だったこと、頑張ったこと、嬉しかったこと。たくさんの思いがあったでしょう。今回の特集展示は、「思い出はいつも心の中に」です。人生の中で幾度も訪れる「出会いと別れ」があるからこそ、人の縁とその時に作られた思い出を大切にしていきたいと思います。

思い出はいつも心の中に



『きみが見つける物語』～運命の出会い編～

あさのあつこ 他/著 角川書店 913/き

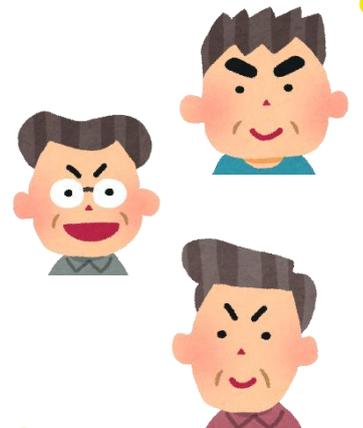
偶然、近くの席に座ったから。共通点があったから。それとも、正反対だったから？ 私たちは出会いと別れを繰り返し、成長し続けていく…。あさのあつこ、魚住直子らによる小説6編を収録。厳選読みきり短編集。

きっかけは些細なこと。その一瞬がかけがえのない思い出に変わっていく物語。

『三匹のおっさん』

有川浩/著 新潮社 913/あ

かつての悪ガキ「三匹のおっさん」が、^{じけいだん}自警団を結成した。詐欺に痴漢に動物虐待…。孫と娘の高校生コンビも手伝って、身近なご町内の悪を斬る！孫との関係が自警団を結成してから変わってきたキヨ。娘溺愛で危ない頭脳派のノリ。鯨屋の^{あるじ}主で武闘派のシゲ。ジジイではなくおっさん達の経験値と行動力が孫や娘の経験になり思い出を作っていく。スカッとする一冊。



今日は何の日

パンダ発見の日

1869(明治2)年3月12日、中国の四川省の山奥の民家で、フランス人のアルマン・ダヴィド神父は、白黒のふしぎな毛皮を見ました。神父はその動物の複製標本を持ち帰り、動物学者であるミレー・エドワード教授にわたしました。こうしてパンダの存在が知られるようになったのです。パンダという名前は、ネパール語で「竹」という意味の「ポンヤ」や「手のひら」という意味の「パンジャ」に由来するといわれています。

【参考】『1年まるごときょうはなんの日？』文研出版 20/い

『特撮の地球科学』

芝原暁彦/著 大内ライダー/著

イーストプレス 77/と



初代ゴジラは東京の地下構造を知っていた、「シン・ウルトラマン」に黒目がないのは進化の結果…。特撮偏愛古生物学者が、怪獣やスーパーヒーローなどの特撮作品に映る全てを「事実」と捉え、科学で解き明かす。

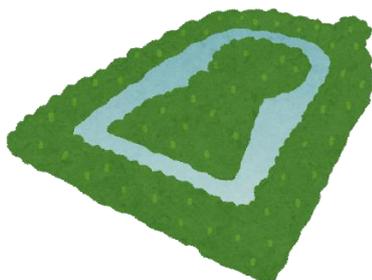
☆図書室のとおき本☆

新しく入る本



『みといねこ』

有川ひろ/著 講談社 913/あ
猫の浩太は、一家の長男・浩美と生まれたときからずっと一緒。いつも醤油にひたした肉球で、テーブルクロスにハンコをペタペタ。そのわけは…。表題作をはじめ、旅猫リポート外伝「ハチジカン」など猫をめぐる全7編を収録。



『知られざる古墳ライフ』

豊田 亜紀子/著 誠文堂新光社 210/こ
古墳人はどのように暮らしを営み、どんな社会をつくりだしたのか。そして古墳はなぜつくられなくなったのか。想像する以上にドラマティックで激動の時代である古墳時代について、イラストとともに紹介する。



『くいじ』

安野モヨ子/著 文藝春秋 59/あ
口癖は「お腹へった」。昼ごはんを食べながら夕食を考え…。「グルメ」でも「食通」でもない、これが「喰いしん坊」の食生活! マンガ家・安野モヨコが、どうにも止まらない自らの「くいじ」をイラストとともに描く。



2021 年度

おすすめ作家振り返り

- ・有川ひろ
代表作品…『図書館戦争』シリーズなど
- ・東野圭吾
代表作品…『容疑者 X の献身』など
- ・三浦しをん
代表作品…『まほろ駅前多田便利軒』など
- ・伊坂幸太郎
代表作品…『重力ピエロ』など
- ・アガサ・クリスティー
代表作品…『名探偵ポアロ』シリーズなど
- ・万城目学
代表作品…『プリンセス・トヨトミ』など
- ・宮部みゆき
代表作品…『ブレイブストーリー』など
作家を知ることとは読書することの楽しみを広がります。ぜひ好きな作家を見つけてみてください。



図書室のお知らせ

1. 3月には全ての学年でブックトークを行います。お楽しみに!
2. 「新しい本コーナー」が最新に更新されています。見に来てください。

開室日は月・火・木・金です。

開室時間は、13:00~17:00です。

貸出冊数は最大2冊までです。

返却後は所定の棚へ戻しましょう。

期限は2週間です。

期限は必ず守ってください。

まだ読みたい場合は返却後、

もう一度貸出を行ってください。

調べ物の図書、読みたい図書を、

お探しします!

お気軽に声をかけてください♪

